

平成 29 年度第 3 回 市川市福祉有償運送運営協議会 会議次第

日 時：平成 30 年 2 月 6 日（火）

時 間：19 時 00 分～20 時 00 分

場 所：市川市役所仮本庁舎 4 階 第 3 委員会室

1. 開会

2. 議題

(1) 団体から提出された移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）について

(2) 福祉有償運送の更新登録の申請について

（社会福祉法人 いちばん星 ミルキーウェイ）

(3) 福祉有償運送に関するアンケートの結果報告

4. 閉 会

配付資料

資料 1 移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

資料 2－1 社会福祉法人 いちばん星 ミルキーウェイ 団体情報

資料 2－2 申請団体要件確認票

福祉有償運送に関するアンケート調査結果報告書

※資料 1 については当日配布とさせていただきます。

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行件数	
社会福祉法人一路会 地域包括支援センターCan		8 月	25 件
		9 月	24 件
		10 月	19 件
		11 月	34 件
		計	102 件
		前期	今期
利用会員 の状況	イ. 身体障害者	0 人	0 人
	ロ. 要介護認定者	0 人	0 人
	ハ. 要支援認定者	0 人	0 人
	ニ. その他の障害	438 人	438 人
	合計	438 人	438 人
		前期	今期
運転者の 状況	第一種運転免許	5 人	5 人
	第二種運転免許	0 人	0 人
	合計	5 人	5 人
		前期	今期
車両の状 況	福祉車両（団体所有）	1 台	1 台
	福祉車両（持ち込み）	0 台	0 台
	セダン等（団体所有）	3 台	3 台
	セダン等（持ち込み）	0 台	0 台
	合計	4 台	4 台
(特記事項) 特になし			

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行件数	
社会福祉法人生活クラブ 生活クラブ風の村 介護ステーション市川	8 月	52 件	
	9 月	49 件	
	10 月	46 件	
	11 月	42 件	
	計	189 件	
利用会員 の状況		前期	今期
	イ. 身体障害者	18 人	18 人
	ロ. 要介護認定者	(5 人)	(5 人)
	ハ. 要支援認定者	0 人	0 人
	ニ. その他の障害	11 人	11 人
	合計	29 人	29 人
運転者の 状況		前期	今期
	第一種運転免許	6 人	6 人
	第二種運転免許	0 人	0 人
	合計	6 人	6 人
車両の状 況		前期	今期
	福祉車両（団体所有）	2 台	2 台
	福祉車両（持ち込み）	0 台	0 台
	セダン等（団体所有）	1 台	1 台
	セダン等（持ち込み）	1 台	1 台
	合計	4 台	4 台
(特記事項)			
<ul style="list-style-type: none"> ・ 会員は退会 0 名、入会 0 名。運転者、車両の変更は無し。 ・ 実利用人数は、8 月 19 人、9 月 18 人、10 月 15 人、11 月 16 人。 ・ 走行距離は、8 月 445km、9 月 476m、10 月 386km、11 月 381km。 			

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行件数(うちサロン)	
NPO 法人 生きがいと助けあい SSU 市川		8 月	255 件(18)
		9 月	307 件(20)
		10 月	295 件(28)
		11 月	341 件(20)
		計	1198 件(86)
		前期	今期
利用会員 の状況	イ. 身体障害者	42 人	37 人
	ロ. 要介護認定者	79 人	73 人
	ハ. 要支援認定者	32 人	29 人
	ニ. その他の障害	26 人	33 人
	合計	179 人	172 人
		前期	今期
運転者の 状況	第一種運転免許	25 人	24 人
	第二種運転免許	4 人	4 人
	合計	29 人	28 人
		前期	今期
車両の状 況	福祉車両（団体所有）	2 台	2 台
	福祉車両（持ち込み）	1 台	1 台
	セダン等（団体所有）	1 台	1 台
	セダン等（持ち込み）	24 台	24 台
	合計	28 台	28 台
(特記事項)			
運転者		1 名減	
身体障害者		5 名減	
要介護認定者		6 名減	
要支援認定者		3 名減	
その他の障害		3 名減	

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行件数	
社会福祉法人市川レンコンの会 レッツ・レンコン		8 月	237 件
		9 月	227 件
		10 月	260 件
		11 月	258 件
		計	982 件
		前期	今期
利用会員 の状況	イ. 身体障害者	5 人	5 人
	ロ. 要介護認定者	0 人	0 人
	ハ. 要支援認定者	0 人	0 人
	ニ. その他の障害	59 人	59 人
	合計	64 人	64 人
		前期	今期
運転者の 状況	第一種運転免許	9 人	9 人
	第二種運転免許	0 人	0 人
	合計	9 人	9 人
		前期	今期
車両の状 況	福祉車両（団体所有）	0 台	0 台
	福祉車両（持ち込み）	0 台	0 台
	セダン等（団体所有）	3 台	3 台
	セダン等（持ち込み）	0 台	0 台
	合計	3 台	3 台
(特記事項)			

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行 件数	
NPO 法人 郷の会 オリーブの家		8 月	91 件
		9 月	84 件
		10 月	86 件
		11 月	80 件
		計	341 件
		前期	今期
利用会員 の状況	イ. 身体障害者	0 人	0 人
	ロ. 要介護認定者	0 人	0 人
	ハ. 要支援認定者	0 人	0 人
	ニ. その他の障害	79 人	79 人
	合計	79 人	79 人
		前期	今期
運転者の 状況	第一種運転免許	9 人	9 人
	第二種運転免許	0 人	0 人
	合計	9 人	9 人
		前期	今期
車両の状 況	福祉車両（団体所有）	3 台	4 台
	福祉車両（持ち込み）	0 台	0 台
	セダン等（団体所有）	0 台	0 台
	セダン等（持ち込み）	0 台	0 台
	合計	3 台	4 台
(特記事項)			

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行件数	
NPO 法人ポテト		8 月	35 件
		9 月	27 件
		10 月	38 件
		11 月	37 件
		計	137 件
		前期	今期
利用会員 の状況	イ. 身体障害者	14 人	14 人
	ロ. 要介護認定者	0 人	0 人
	ハ. 要支援認定者	0 人	0 人
	ニ. その他の障害	8 人	8 人
	合計	22 人	22 人
		前期	今期
運転者の 状況	第一種運転免許	3 人	3 人
	第二種運転免許	0 人	0 人
	合計	3 人	3 人
		前期	今期
車両の 状況	福祉車両（団体所有）	0 台	0 台
	福祉車両（持ち込み）	1 台	1 台
	セダン等（団体所有）	0 台	0 台
	セダン等（持ち込み）	2 台	2 台
	合計	3 台	3 台
(特記事項) 特にありません。			

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行件数	
特定非営利活動法人 ココCOLORねっと		8 月	11 件
		9 月	4 件
		10 月	4 件
		11 月	7 件
		計	26 件
		前期	今期
利用会員 の状況	イ. 身体障害者	1 人	1 人
	ロ. 要介護認定者	1 人	1 人
	ハ. 要支援認定者	2 人	2 人
	ニ. その他の障害	4 人	4 人
	合計	8 人	8 人
		前期	今期
運転者の 状況	第一種運転免許	3 人	2 人
	第二種運転免許	0 人	0 人
	合計	3 人	2 人
		前期	今期
車両の状 況	福祉車両（団体所有）	0 台	0 台
	福祉車両（持ち込み）	0 台	0 台
	セダン等（団体所有）	0 台	0 台
	セダン等（持ち込み）	3 台	2 台
	合計	3 台	2 台
(特記事項)			

移送サービスの状況（平成 29 年 8 月～11 月）

団体名		運行件数	
社会福祉法人いちばん星 ミルキーウェイ		8 月	78 件
		9 月	81 件
		10 月	88 件
		11 月	73 件
		計	320 件
		前期	今期
利用会員 の状況	イ. 身体障害者	0 人	0 人
	ロ. 要介護認定者	0 人	0 人
	ハ. 要支援認定者	0 人	0 人
	ニ. その他の障害	97 人	97 人
	合計	97 人	97 人
		前期	今期
運転者の 状況	第一種運転免許	11 人	11 人
	第二種運転免許	0 人	0 人
	合計	11 人	11 人
		前期	今期
車両の状 況	福祉車両（団体所有）	0 台	0 台
	福祉車両（持ち込み）	0 台	0 台
	セダン等（団体所有）	4 台	4 台
	セダン等（持ち込み）	0 台	0 台
	合計	4 台	4 台
(特記事項)			

[トップページ](#)[いちばん星の理念](#)[各種事業](#)[事業所案内](#)[いちばん星の歩み](#)

私たちの目指すもの

障がいのある方と家族の願いを叶えるために

「障がいがあっても生まれ育った街で当たり前の暮らしができるように」。そんな親が子を思う願いから、障がいのある方々の学校卒業後の進路対策として、『市川手をつなぐ親の会』は、『社会福祉法人一路会』を設立。また、『社会福祉法人いちばん星』の前身となる地域作業所をいくつも立ち上げてきました。

地域作業所第一号となる『いぶき作業所』は、昭和62年にわずか4名の利用者様からスタート。その後、地域作業所、生活ホーム、喫茶店など、“障がいのある方々が地域で暮らしていくための場”を一つひとつ作り出し、今では100名を超える仲間がいます。そして『市川手をつなぐ親の会』は、平成16年に『社会福祉法人いちばん星』を設立。障害者自立支援法のもと、各地域作業所を『いちばん星』の傘下に入れることにより、法内事業に移行しました。

『いちばん星』は、地域作業所時代に培った“与えられる福祉ではなく、自分たちで創っていく福祉”の精神を忘れずに、一人ひとりの生活に添った活動をしています。障がいのある人がその人らしく地域社会の中で生きがいをもって暮らしていくことを目指しています。



INFORMATION

社会福祉法人 いちばん星

[事業報告・決算](#)[定款](#)[役員報酬規定](#)[役員](#)[職員募集](#)[ヘルパー募集](#)[いちばん星パンフレット](#)[いちばん星まつり2017](#)

[トップページ](#)

[いちばん星の理念](#)

[各種事業](#)

[事業所案内](#)

[いちばん星の歩み](#)

いちばん星の歩み

あゆみ

昭和28年	市川手をつなぐ親の会の発足
昭和62年	市内初の地域作業所「いぶき作業所」開所
平成5年	地域作業所「きらら作業所」開所
平成6年	援助就労の場「カフェテラスびっころ」開店
平成12年	生活ホーム「いぶきらホーム・楽居」開所
平成13年	生活ホーム「いぶきらホーム・華楽居」開所 地域作業所「ぼれぼれ」開所
平成14年	地域作業所「おおぞら」開所
平成15年	地域作業所「まあぶるはうす」開所
平成16年	社会福祉法人「いちばん星」設立 「いぶき作業所」が小規模通所授産施設「いぶき」に移行 地域作業所「ウェーブ」開所
平成17年	地域作業所「もこ」開所
平成18年	障害者自立支援法施行 生活ホーム「楽居」「華楽居」がケアホームに移行
平成19年	「きらら作業所」「まあぶるはうす」「もこ」「ぼれぼれ」 「おおぞら」「ウェーブ」が生活介護事業所に移行 小規模通所授産施設「いぶき」が就労継続B型事業所に移行 それぞれがいちばん星の傘下となる
平成23年	生活介護事業所「くるみ」開所 ケアホーム「暖家」開所
平成24年	多機能型事業所「ぼらりす」（就労継続B型&生活介護）開所
平成25年	「いちばん星相談支援事業所」開設
平成26年	生活介護事業所「そらな」開所

いちばん星の商品をみなさまのお店に！

いちばん星の各事業所では、確かな品質管理のもとでクッキー、ジャム、ケーキ、梅干しなどの食品、また裂き織り製品（織物）などの商品の製造・販売を行っています。さらに、清掃事業やポストイングなどの下請け業務を行い、この売上で利用者様の工賃を支払っています。「どこで買えるの?」「うちのお店で商品を販売してみたい」「ポストイングなどの仕事を依頼したい」など、みなさまからのご連絡をお待ちしています。



★問い合わせは 社会福祉法人いちばん星「ぼらりす」まで

INFORMATION

社会福祉法人 いちばん星

[事業報告・決算](#)

[定款](#)

[役員報酬規定](#)

[役員](#)

[職員募集](#)

[ヘルパー募集](#)

[いちばん星パンフレット](#)

[いちばん星まつり2017](#)

申請団体要件確認票

No	項目		
1	運送主体	法人 情報	法 人 名：社会福祉法人いちばん星 住 所：千葉県市川市南大野3-8-18 代表者氏名：理事長 森田美智子
		事業所 情報	事業所名：ミルキーウェイ 住 所：千葉県市川市東国分1-11-3
		対象	知的障害者：145名、精神障害者：1名、 合計：146名
		形態	運送の発地または着地のいずれかが市川市にある。
2	使用車両 [所有区分、車種、台数 (軽自動車数)]	所有区分：持込 車 種：セダン等普通自動車 台 数：4台(3台)	
3	運行管理の責任者	塚越千裕	
4	整備管理の責任者	塚越千裕	
5	運転者 [人数、運転免許の種類]	人 数：11名 運転免許の種類：1種 *福祉有償運送運転者講習修了、セダン等運転者講習修了 *過去2年間に免許停止の履歴なし	
6	損害賠償措置	対 人 賠 償：無制限 対 物 賠 償：無制限 加入保健会社名：三井住友海上火災保険株式会社	
7	運送の対価 [入会金、年会費、運賃 (距離制か時間性かも記 載)、その他条件]	入会金：0円 年会費：0円 運 賃：距離制 初乗り走行5キロまで500円、以後1キロ毎に50円 (運賃の起点は市川市、終点は市川市)	
8	利用時間	要望に応じて対応 *基本的に事業所の開所時間内	
9	管理運営体制	保有車両4両以下の為、自動車運行管理等の体制のとおり	

福祉有償運送に関するアンケート 調査結果報告書

福祉政策課
平成30年2月

目次

I アンケート調査概要

1. 調査実施の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
2. 調査の設計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
3. 配布数と回収率・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2

II アンケート調査結果【概要版】

1. 対象基礎データ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
2. 運送状況に関するデータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
3. 周知に関するデータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
4. 今後に関するデータ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10

III アンケート調査結果【データ版】

1. 事業者向けアンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (1) 法人名、事業所名・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (2) 対象者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13
 - (3) 最も多い利用者・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 14
 - (4) 利用目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 15
 - (5) 利用制限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (6) その他実施事業・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 16
 - (7) 福祉有償運送を始めた理由・・・・・・・・・・・・ 17
 - (8) 福祉有償運送を知った方法・・・・・・・・・・・・ 18
 - (9) 周知方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
 - (10) 問い合わせ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 20
 - (11) 問い合わせ主・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 21
 - (12) 問い合わせ内容・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 22
 - (13) 会員登録・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 23
 - (14) 会員登録につながらなかった理由・・・・・・・・ 23
 - (15) 今後の展開・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
 - (16) 自由記述・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24
2. 利用者向けアンケート結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - (1) 居住地区・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - (2) 様態・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 25
 - (3) 利用目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 26

(4) 福祉有償運送を知った方法	26
(5) 利用頻度	27
(6) 利用実態	27
(7) 希望通りの利用ができていない理由	27
(8) 満足度	28
(9) 満足度の理由	28
(10) 自由記述	29
3. 一般市民向けアンケート結果	30
(1) 居住地区	30
(2) 様態	30
(3) 福祉有償運送を知っているか	31
(4) 福祉有償運送を知った方法	31
(5) 利用実態	32
(6) 利用した感想または利用していない理由	32
(7) 今後の利用	33
(8) 今後も利用しない理由	33
(9) 周知方法	34
(10) 自由記述	35

I. アンケート調査概要

1. 調査実施の目的

本アンケートは、本市の福祉有償運送の実態を把握することで、今後の福祉有償運送運営事業の運用の参考とすることを目的として実施した。

2. 調査の設計

		対象	実施方法	実施期間
①	事業者	社会福祉法人一路会 地域生活支援センターCan	郵送配布	11月16日(木) ～12月18日 (月)
		社会福祉法人生活クラブ 生活クラブ風の村介 護ステーション市川		
		NPO 法人 生きがいと助けあい SSU 市川		
		社会福祉法人 市川レンコンの会 レッツ・レンコン		
		NPO 法人郷の会 オリーブの家		
		NPO 法人ポテト		
		特定非営利活動法人 ココ COLOR ねっと		
		社会福祉法人いちばん星 ミルキーウェイ		
②	利用者			
③	一般市民		e-モニター制度 ※1	11月16日(木) ～11月29日 (水)
			Web アンケート	11月16日(木) ～12月31日 (日)

※1 e-モニター制度とは、インターネットを利用した、市が運営する登録制のアンケート制度で、16歳以上であれば、どなたでも登録することができるもの。

3. 配布数と回収率

区分		配布数 ※2	有効回収数	回収率
①事業者		8	8	100%
②利用者		861	224	26%
③一般市民	e-モニター制 度	-	1311	-
	Web アンケート	-	25	-

※2 「配布数」については、以下のとおり。

- ①市川市にある8事業者の代表者
- ②市川市にある8事業者の登録者

Ⅱ. アンケート調査結果

【概要版】

1. 対象基礎データ

(1) 事業者【p13】

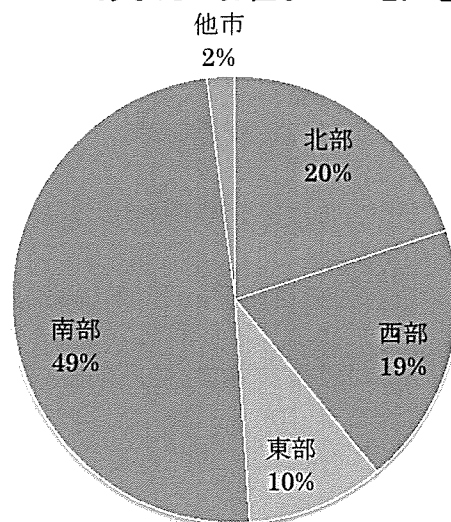
【事業者向け】Q2：どのような方を対象に福祉有償運送を行っていますか。(n=8)

選択肢	件数	割合
ア、要介護の認定者	2	25%
イ、要支援の認定者	2	25%
ウ、チェックリスト該当者	0	0%
エ、身体障害者手帳保持者	7	88%
オ、その他肢体不自由、内部・知的・精神障害、その他障害を有する者	7	88%

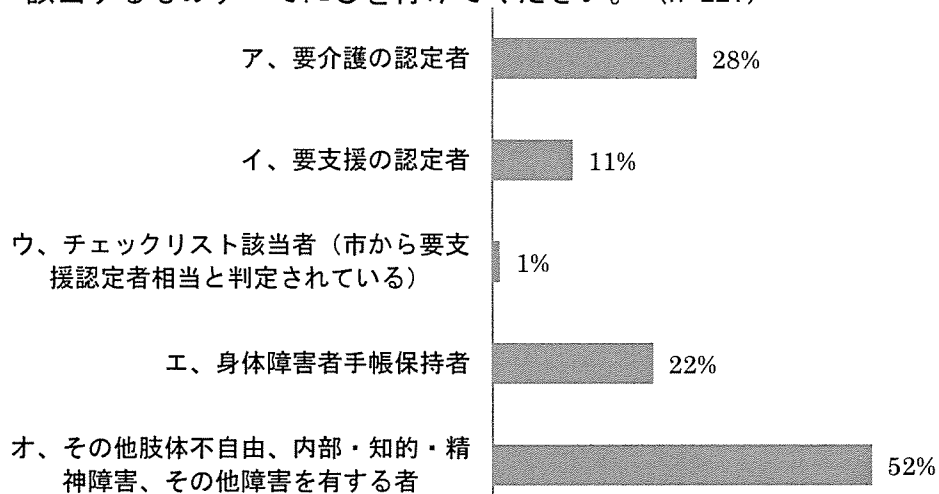
※（複数回答可）

(2) 利用者【p25】

【利用者向け】Q1：あなたのお住まいの地区を教えてください。(n=221)

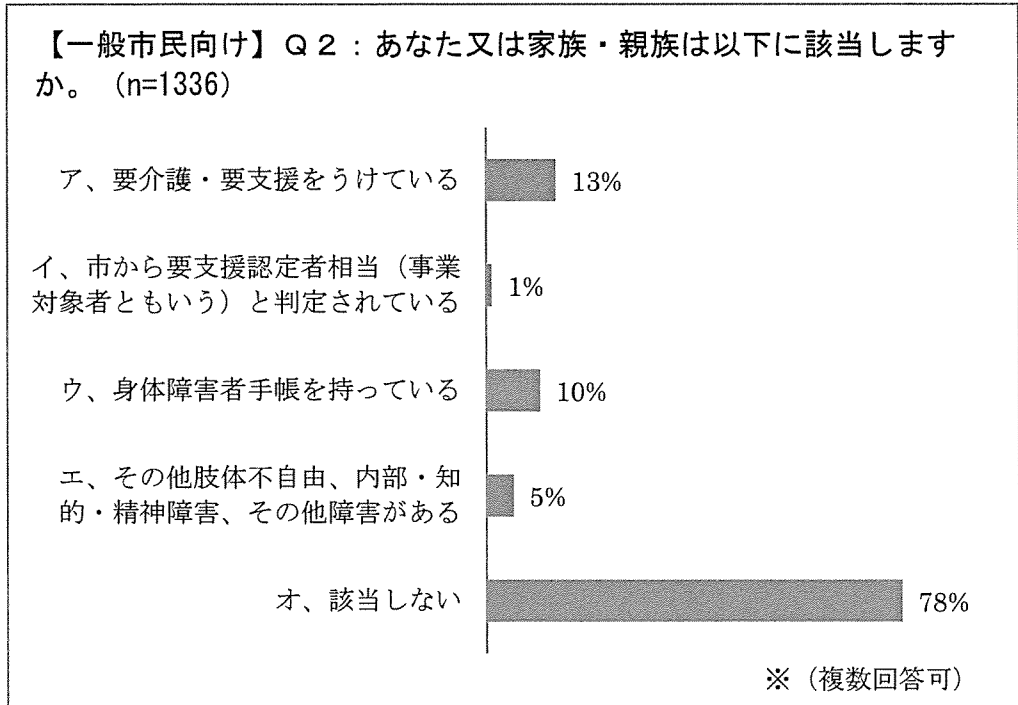


【利用者向け】Q2：あなたは下記の、ア～オに該当しますか。該当するものすべてに○を付けてください。(n=221)



※（複数回答可）

(3) 一般市民【p 30】



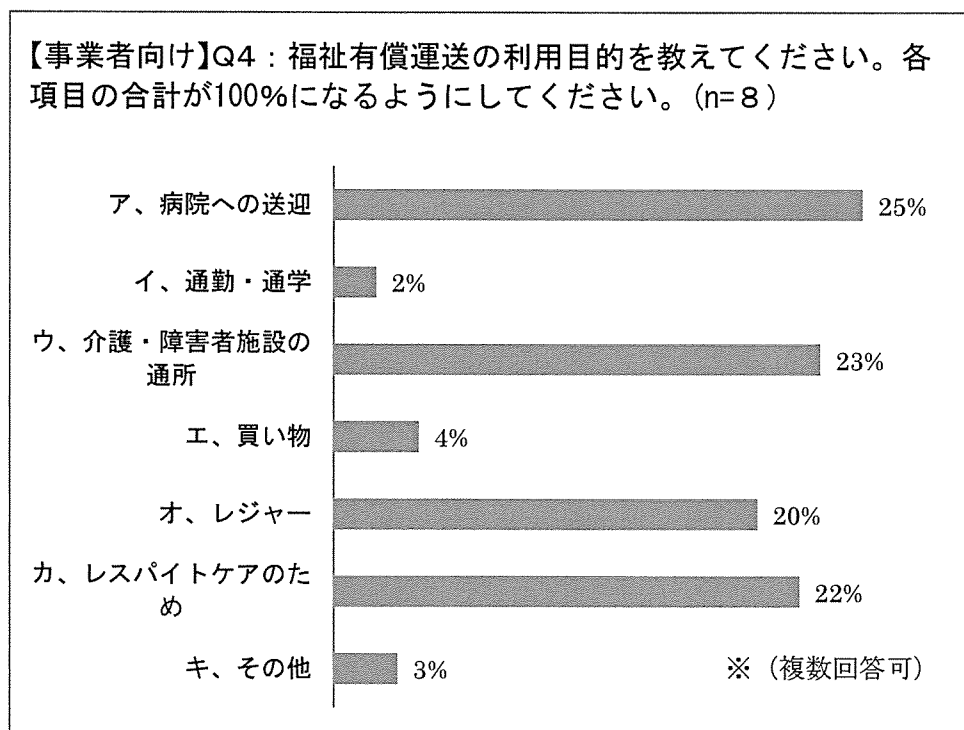
現在の福祉有償運送の利用者は「南部地域」の方が最も多く、次いで「北部地域」が多いことがわかった。一方で、事業者半数が「北部地域」または「南部地域」に位置しており、「西部地域」及び「東部地域」のニーズを汲み取ることができず、ニーズに応えられていない可能性も考えられる。

2. 運送状況に関するデータ

(1) 運送状況

【事業者向け】Q3：最も多い利用者については、「その他肢体不自由、内部・知的・精神障害、その他障害を有する者」が最も多い5事業者で、次いで「身体障害者手帳保持者」と、「要介護の認定者」がいずれも2事業者であった。【p14】

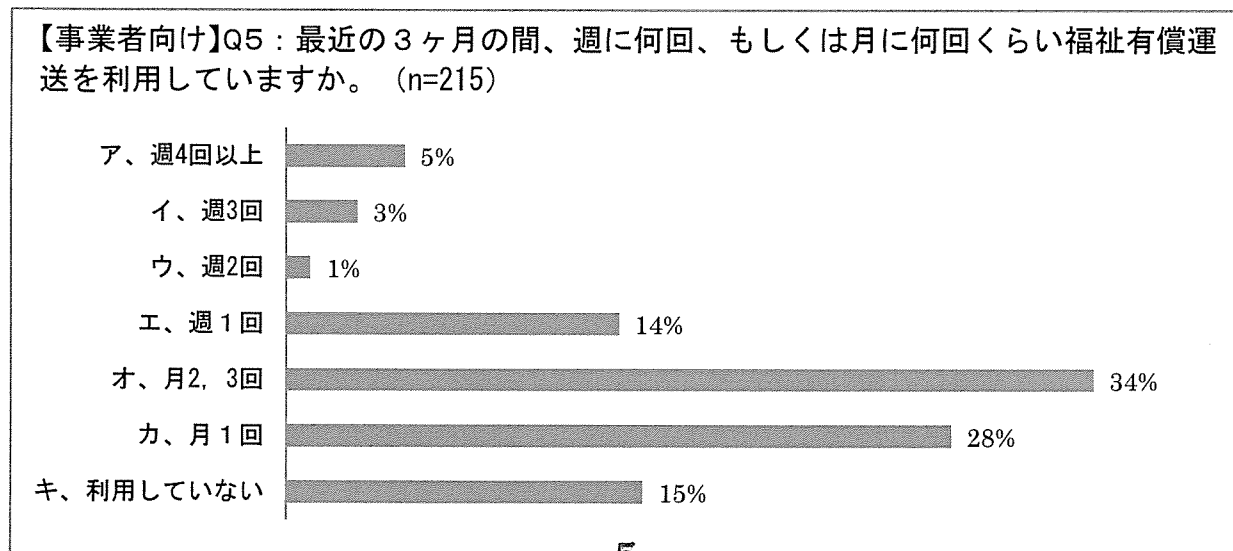
また、【事業者向け】Q4：利用目的については、「病院への送迎」が25%と最も多く、次いで「介護・障害者施設への通所」が24%であった。【15p】



(2) 利用状況

【利用者向け】Q5：最近の3カ月の利用頻度については、「月2, 3回」が34%で最も多く、次いで「月1回」が28%で、週4回以上から週2回の高頻度の利用は少なかった。

一方で、「利用していない」が15%であったが、「利用していない」と回答した方は、【利用者向け】Q6：希望通りの利用ができているかで、「できている」または「概ねできている」と回答しているため、希望通りの利用ができていると推定できる。



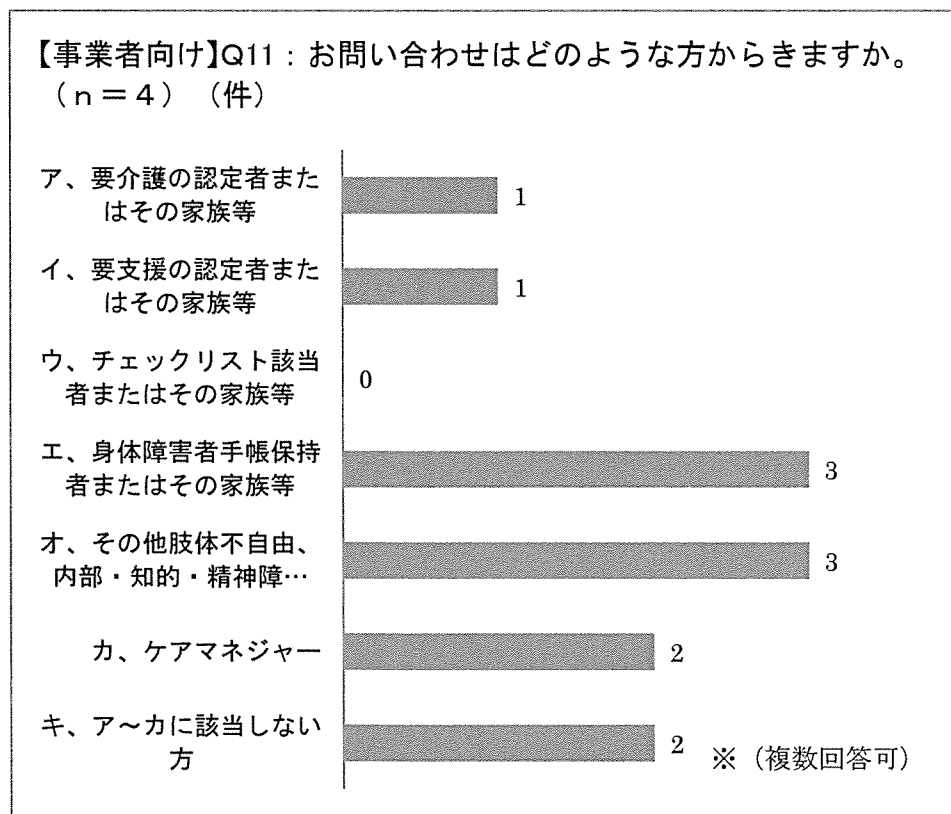
運送状況については、障害者の運送が大半を占めており、利用者の「要介護の認定者」、「要支援者の認定者」の運送を2事業者でまかなっていることがわかった。利用目的については、「病院への送迎」や「介護・障害者施設への通所」、「レスパイトケアのため」等の日常的な利用が多かったが、一方で趣味的な利用である「レジャー」も多く、幅広い目的で利用されていることがわかった。利用頻度については、「月2、3回」が多かったが、登録者のうち、利用していない方も一部いることがわかった。

(3) 問い合わせ

事業者への問い合わせについては、「ある」が4事業者、「ほとんどない」が4事業者であった。

また、「ある」と回答した4事業者のうち、どのような方から問い合わせがあるかについては、「身体障害者手帳保持者」、「その他肢体不自由、内部・知的・精神障害、その他障害を有する者」と回答した事業者がいずれも3事業者であった。

さらに、「ア～カに該当しない」と回答した事業者が2事業者いたが、内容としては、「市役所等の関係機関」、「支援相談員」であった。【p 21】



なお、問い合わせ内容については、「病院の送迎」2事業者、「介護・障害者施設への通所」が2事業者であった。

【事業者向け】Q13：実際に会員につなげることができているかについては、「ある」と回答した4事業者のうち、「概ねできている」が2事業者、「あまりできていない」が2事業者だった。

また、登録会員につなげることがあまりできていない理由については、「利用者の希望日時と合わない」、「他の事業のウエイトが大きい」が1事業者から挙げられた。

問い合わせについては半数の事業者が「ほとんどない」と回答しており、周知が必要である。事業者に問い合わせがあった際、半数の事業者が概ね会員につなげることができているため、新規の会員を受け入れることができている。

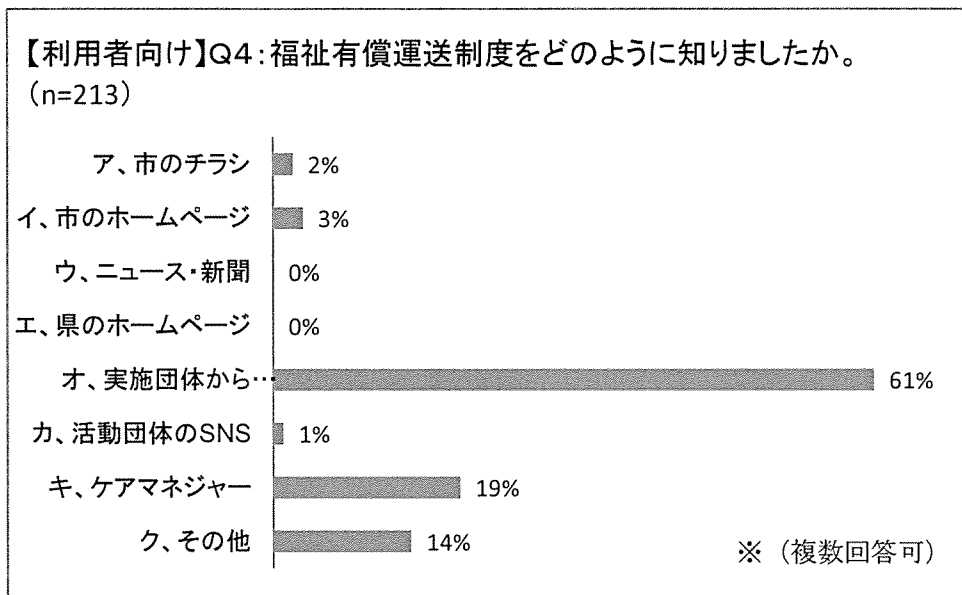
また、「あまりできていない」と回答した理由として、「他の事業のウエイトが大きい」が挙げられているが、全事業者が複数の事業を行っているため、他の事後業者にも言えることであると考えられる。

3. 周知に関するデータ

(1) 周知方法

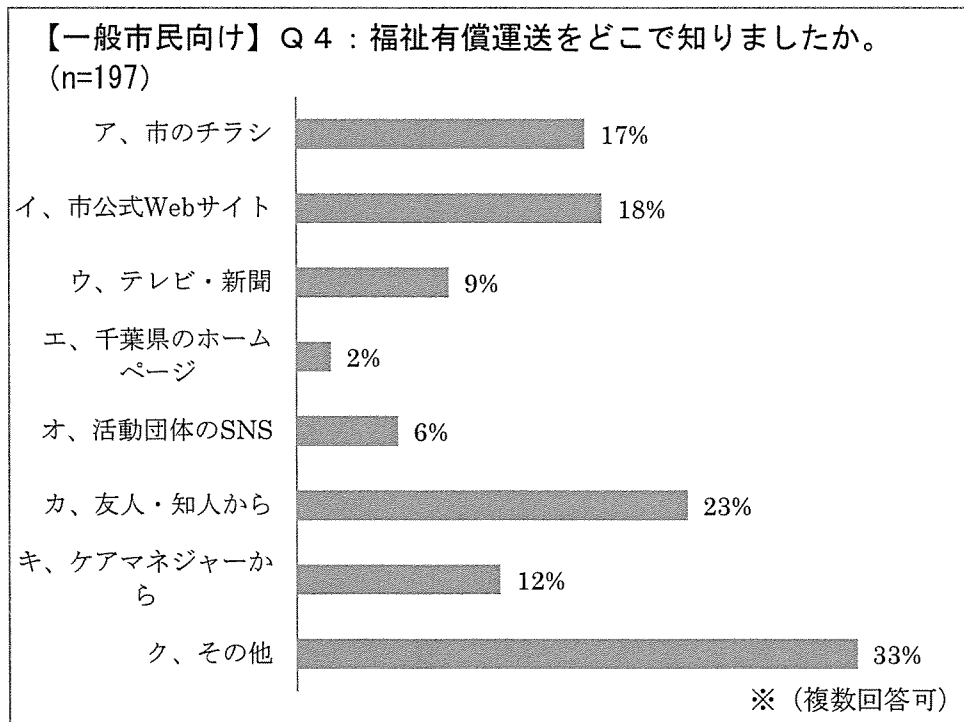
事業者の周知方法については「口頭でのご案内」が4事業者と最も多く、次いで「チラシ・パンフレット」が3事業者と多かった。一方で、周知を行っていない事業者は2事業者いた。【p19】

利用者が福祉有償運送を知った方法は、「実施団体からの紹介」が最も多く、次いで「ケアマネジャー」が多かった。【p26】



(2) 認知度

一般市民の認知度については、「知っている」が13%、「知らない」が87%であった。「知っている」のうち、どこで知ったかについては、「友人や知人から」が最も多く、次いで「市公式Webサイト」、「市のチラシ」であった。【p31】



また、一般市民に聞いた今後の周知方法は総数が 286 件で、そのうち「広報紙に掲載、特集を組む」(77 件) が最も多く、次いで「チラシ・パンフレットの配布、ポスターの掲示」(26 件)、以降は「自治会の回覧」(11 件)、「市公式 Web サイトで周知」(9 件) 等の意見が多かった。

なお、「病院等の医療機関」、「バス・タクシー等の公共交通機関」、「福祉施設等の関係機関」等の周知場所についての意見も多数挙げられた。【p 34】

事業者の周知方法は「口頭でのご案内」が最も多く、利用者は「実施団体からの紹介」が最も多かったことから、事業者からの直接のご案内・紹介が利用に繋がっていることがわかった。

一般市民の福祉有償運送の認知度については 13% で、「友人や知人から」が最も多かった。今後の周知方法については「広報紙に掲載、特集を組む」、「病院等の医療機関、公共交通機関、関係機関でチラシ・パンフレットの配布、ポスターの掲示」という意見が多く、理由の一部として「利用対象者が高齢者や障害者のため紙媒体の方が良い」、「利用対象者が多く通う場所での周知が必要」等の意見が見受けられた。一方で、「新聞等を取っておらず広報紙を読むことができない方のために、市公式 Web サイトでの周知」や、さらに「ネット環境も整っていない方には自治会の回覧」を求める意見も一部見受けられた。

4. 今後に関するデータ

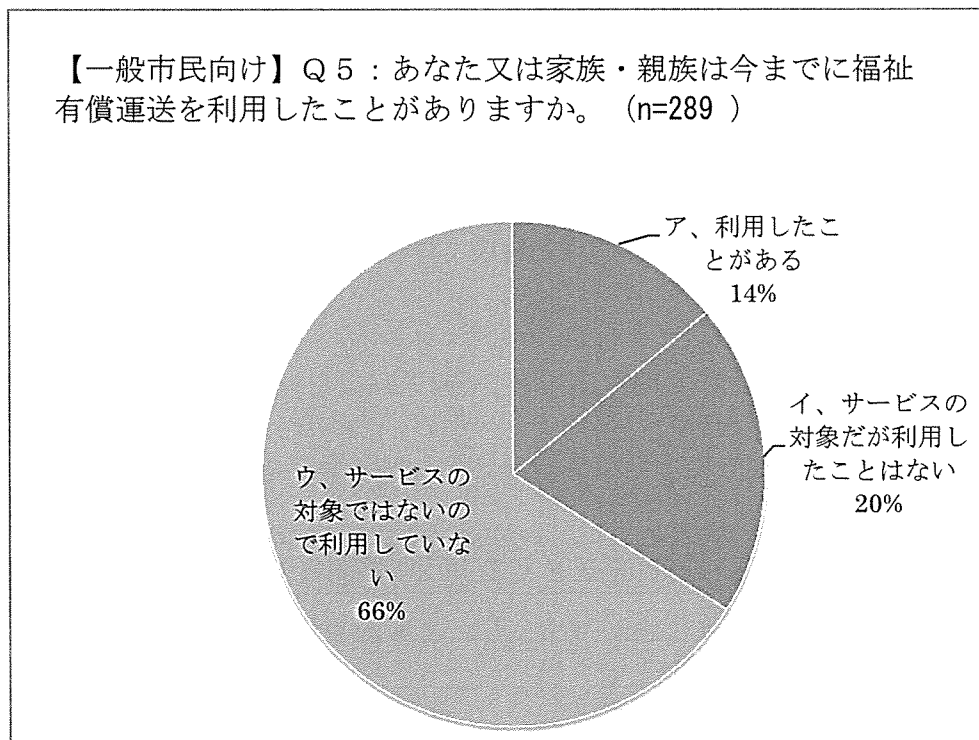
(1) 利用者の利用状況及び満足度

希望通りの利用が「できている」または「概ねできている」を併せると97%で、「親切、丁寧」、「助かっている」等の意見も多かった。一方で、「あまりできていない」または「できていない」理由として「回数を増やしてもらえない」、「送迎の回数が2回から1回になった」と、利用回数に関する意見があった。【p27】

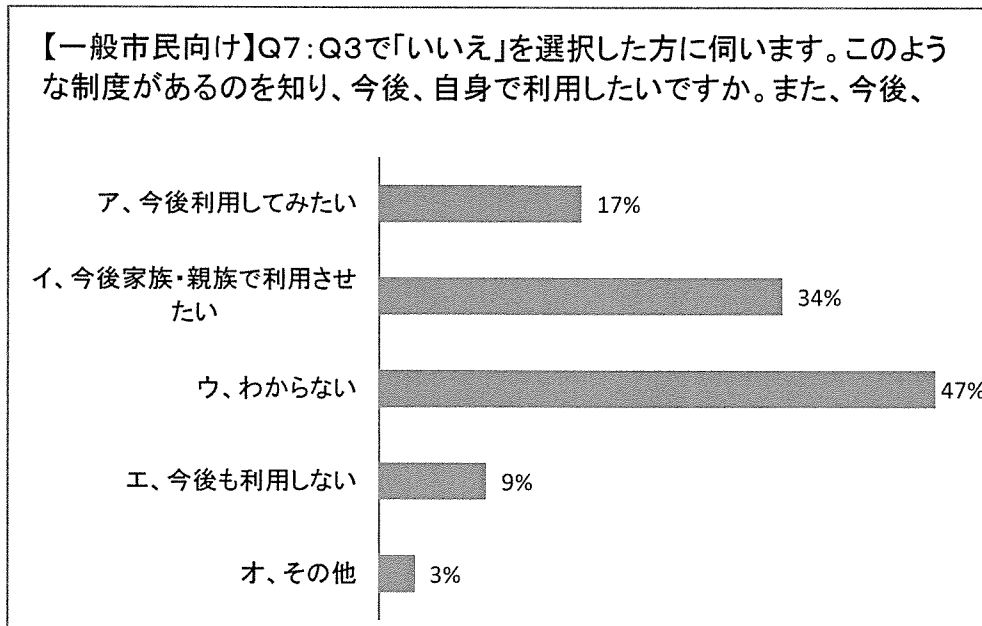
満足度については、「満足している」または「概ね満足している」が98%と多かった。一方で、「あまりできていない」または「できていない」理由として「料金が高い」、「ドライバーによって、道や態度が全然違う」、「北部から南部、南部から北部等さまざまな送迎ができていないのが残念」等の意見があった。【p28】

(2) 一般市民の福祉有償運送の今後の利用

福祉有償運送を知っている方で「自分又は家族・親族がサービスの対象だが利用したことはない」は20%で、利用したことがない理由については「家族等が運転できる」等の必要性がないという意見が最も多く、利用希望の方が利用につながっていないことが見受けられる意見はなかった。【p32】



福祉有償運送を知らなかった方で、「今後利用してみたい」または「今後家族・親族で利用させたい」は51%であった。一方で、「今後も利用しない」は9%で、主な理由として「どのようなサービスかわからないので利用しない」が38%と最も多く、次いで「外出・移動は家族の支援があるので困っていない」が多かった。【p33】



(3) 事業者の今後の展開

【事業者向け】Q15：今後福祉有償運送をどのように展開していくかについては、「今まで通り事業を継続したい」が6事業者と最も多く、その内の2事業者は「ドライバーを増やしたい」も併せて回答している。なお、【一般市民向け】Q10：自由記述で、「ドライバーの登録制度を知りたい」、「車を提供した際の補償内容を知りたい」、「ドライバー登録を希望」などの意見が一部あった。【p35】

以降は「車両の台数を増やしたい」が1事業者、「運送回数を減らしたい」が1事業者、平成30年2月に福祉有償運送を廃止することが決まっている1事業者が「事業をやめたい」と回答しており、「利用者をもっと受け入れたい」を回答した事業者はいなかった。【p24】

【事業者向け】Q15：今後福祉有償運送をどのように展開していく予定ですか。(n=8)

選択肢	件数	割合 (%)
ア、利用者をもっと受け入れたい	0	0%
イ、車両の台数を増やしたい	1	13%
ウ、ドライバーの数を増やしたい	2	25%
エ、今まで通り事業を継続したい	6	75%
オ、利用者を減らしたい	0	0%
カ、運送回数を減らしたい	1	13%
キ、事業をやめたい	1	13%
ク、その他	0	0%

※ (複数回答可)

利用者の 97%は希望通りの利用ができており、サービスの満足度は高かった。一般市民で福祉有償運送を知らなかったが今後利用してみたいと回答した者は 51%と、約半数が利用を希望していることがわかった。また、サービスの対象者だが利用したことがないと回答した方の大半が、「家族等が運転できる」と回答しており、対象者ではあるが別の手段でまかなえている等、現在必要がないため利用していないことがわかった。一方で、事業者の今後の展開としては半数以上の事業者が「今まで通り事業を継続したい」と回答し、「利用者をもっと受け入れたい」と回答した事業者はいなかったことから、既存の事業者での事業の拡大は厳しいことがわかった。

Ⅲ. アンケート調査結果

【データ版】

1. 事業者アンケート

(1) 法人名、事業所名

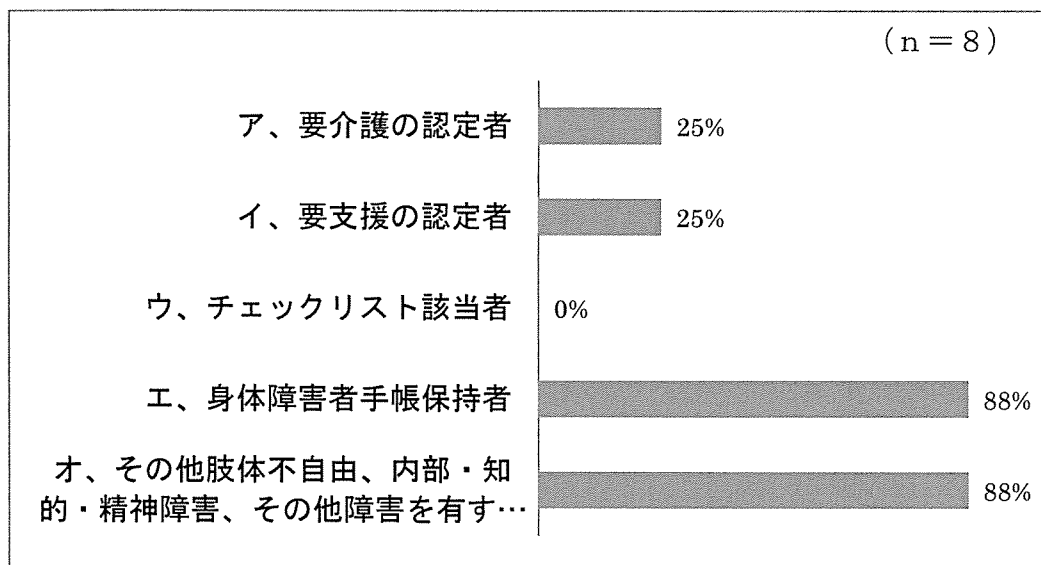
Q1：法人名、事業所名等を教えてください。

全事業者（8事業者）が回答した。

(2) 対象者

Q2：どのような方を対象に福祉有償運送を行っていますか。該当するものすべてに○を付けてください。（複数回答可）
有効回答者数：8事業者

	ア、要介護の認定者	イ、要支援の認定者	ウ、チェックリスト該当者	エ、身体障害者手帳保持者	オ、その他肢体不自由、内部・知的・精神障害、その他障害を有する者
地域包括支援センターCan					1
生活クラブ風の村介護ステーション市川				1	1
生きがいと助けあいSSU市川	1	1		1	1
市川レンコンの会 レッツ・レンコン				1	1
オリーブの家				1	1
ポテト				1	1
ココ COLOR ねっと	1	1		1	
ミルクィウェイ				1	1
合計	2	2	0	7	7
割合（%）	25%	25%	0%	88%	88%

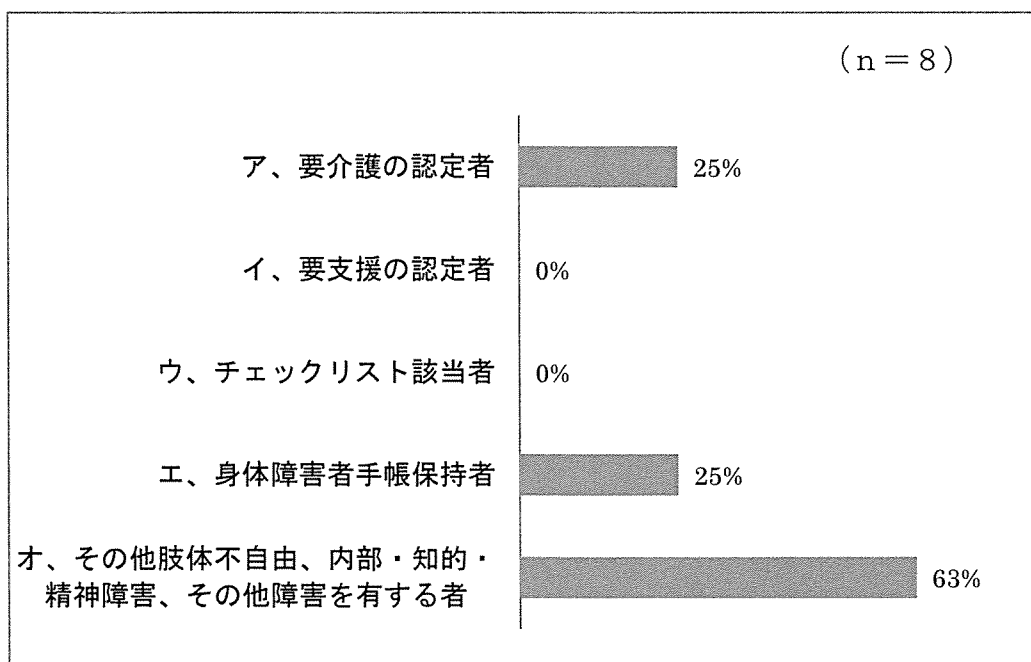


(3) 最も多い利用者

Q3：Q2の中で、最も多い利用者の一つ○を付けてください。

有効回答者数：8事業者

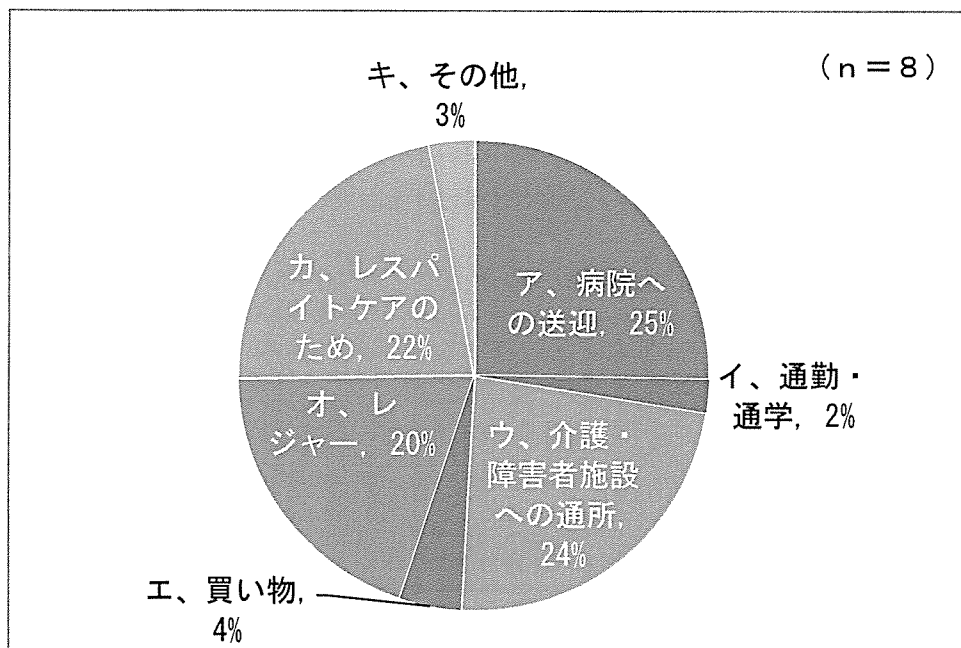
	ア、要介護の 認定者	イ、要支援の 認定者	ウ、チェック リスト該当者	エ、身体障 害者 手帳保持者	オ、その他肢体不 自由、内部・知的・ 精神障害、その他 障害を有する者
地域包括支援セン ターCan					1
生活クラブ風の村 介護ステーション 市川				1	
生きがいと助けあ いSSU市川	1				
市川レンコンの会 レッツ・レンコン				1	1
オリーブの家					1
ポテト					1
ココ COLOR ねっと	1				
ミルクィウェイ					1
合計	2	0	0	2	5
割合 (%)	25%	0%	0%	25%	63%



(4) 利用目的

Q4：利用目的（ア～キ）の割合を教えてください。各項目の合計が100%になるように入力してください。
有効回答者数：8事業者

	ア、病院への送迎	イ、通勤・通学	ウ、介護・障害者施設への通所	エ、買い物	オ、レジャー	カ、レスパイトケアのため	キ、その他
地域包括支援センターCan	5		3			92	0
生活クラブ風の村介護ステーション市川	39		35		15	9	2
生きがいと助けあいSSU市川	31	14	29	1	3	4	18
市川レンコンの会 レッツ・レンコン	20				30	50	
オリーブの家	2	2	2	10	64	20	
ポテト			95		5		
ココ COLOR ねっと	90			10			
ミルクィウェイ	15	2	23	13	40	2	5
合計	202	18	187	34	157	177	25
割合 (%)	25%	2%	23%	4%	20%	22%	3%



その他の回答内容

- ・サロン

(5) 利用制限

Q 5 : 福祉有償運送サービスで対象者や利用目的等に制限を設けていますか。有効回答者数 : 8 事業者

事業者名	回答
地域包括支援センターCan	基本的に障害者のレスパイト利用者
生活クラブ風の村介護ステーション市川	身体障害、知的・精神障害の手帳保持者、通院介助、移動支援等の支給決定者
生きがいと助けあいSSU市川	市川市南部地域（行徳地域）、その他の地域で、リフト車利用者及び生活困難者※ドライバーの数に限りがあり、主に南部地域
市川レンコンの会 レッツ・レンコン	当事業所登録者
オリーブの家	制限なし
ポテト	身体障害、療育手帳保持者
ココ COLOR ねっと	制限なし
ミルキーウェイ	障害者手帳保持者

(6) その他の実施事業

Q 6 : 福祉有償運送以外で行っている事業はなんですか。(記入していただく際、どのような方を対象にしている事業者なのかも併せてご記入ください。) 有効回答者数 : 8 事業者

事業者名	回答
地域包括支援センターCan	移動支援、居宅介護、生活介護、単独短期入所、共同生活援助、相談支援、就労継続B型、放課後等デイサービス、市川市生活困窮者自立相談支援事業、中核地域生活支援センター
生活クラブ風の村介護ステーション市川	移動支援、居宅介護、居宅介護支援、訪問介護、重度訪問介護、同行援護、障害福祉、介護保険（高齢者対象）
生きがいと助けあいSSU市川	訪問介護、ケアプラン作成、障がい者計画相談、市の委託事業、サロン、たすけあい活動、オレンジカフェ（認知症カフェ）
市川レンコンの会 レッツ・レンコン	移動支援、居宅介護、重度訪問介護、レスパイトサービス
オリーブの家	移動支援、レスパイトサービス
ポテト	移動支援、居宅介護、地域活動支援センター、日中一時支援
ココ COLOR ねっと	高齢者、子育て家庭の日常生活の支援事業
ミルキーウェイ	移動支援、居宅介護、重度訪問介護移動支援、レスパイトサービス

(7) 福祉有償運送を始めた理由

Q7：福祉有償運送を始めたきっかけを教えてください。有効回答者数：7事業者

事業者名	回答
地域包括支援センターCan	制度以前からレスパイト等の送迎を行っていた
生活クラブ風の村介護ステーション市川	障害者（特に知的障害）と外出（通院）の際、タクシーの利用より便利で費用も少ない
生きがいと助けあいSSU市川	地域のたすけあい活動を始めることで会が発足。その際、家事等と共に送迎を開始
市川レンコンの会 レッツ・レンコン	-
オリーブの家	市川市役所からの推薦
ポテト	元々ボランティア送迎を行っていた
ココ COLOR ねっと	病院への送迎に困っている当事業者会員がいた
ミルキーウェイ	移動支援を行うため

(8) 福祉有償運送を知った理由

Q8：福祉有償運送の制度をどのように知りましたか。(複数回答可) 有効回答者数：6事業者

	ア、市の チラシ	イ、市の ホームペ ージ	ウ、ニュー ス・新聞	エ、県の ホームペ ージ	オ、実施団 体を見て	カ、NPO 団体、市 民団体 からの 情報	キ、その 他
地域包括支援セン ターCan						1	
生活クラブ風の村 介護ステーション 市川	-	-	-	-	-	-	-
生きがいと助けあ いSSU市川					1		
市川レンコンの会 レッツ・レンコン							1
オリーブの家	-	-	-	-	-	-	-
ポテト							1
ココ COLOR ねっと						1	
ミルクィウェイ					1		
合計	0	0	0	0	2	2	2

「その他」の回答内容

- ・市役所職員、創始者

(9) 周知方法

Q9：貴法人の福祉有償運送サービスをどのように周知していますか。(複数回答可)

有効回答者数：8事業者

	ア、チラシ・パンフレット	イ、ホームページ	ウ、口頭での案内	エ、SNS	オ、その他
地域包括支援センターCan					1
生活クラブ風の村介護ステーション市川					1
生きがいと助けあいSSU市川	1	1			
市川レンコンの会 レッツ・レンコン			1		
オリーブの家			1		
ポテト			1		
ココ COLOR ネット	1				1
ミルクィウェイ	1	1	1		
合計	3	2	4	0	3

「その他」の回答内容

・なし

(10) 問い合わせ

Q10：福祉有償運送サービスに関する新規のお問い合わせはありますか。

有効回答者数：8事業者

	ア、頻繁にある	イ、ある	ウ、ほとんどない	エ、ない
地域包括支援センターCan			1	
生活クラブ風の村 介護ステーション 市川		1		
生きがいと助けあいSSU市川		1		
市川レンコンの会 レッツ・レンコン			1	
オリーブの家		1		
ポテト		1		
ココ COLOR ねっと			1	
ミルクィウェイ			1	
合計	0	4	4	0

(11) 問い合わせ主

Q11：Q10 でア又はイと回答した方へ伺います。お問い合わせはどのような方からきますか。

(複数回答可)

有効回答者数：4事業者

	ア、要介護の認定者またはその家族等	イ、要支援の認定者またはその家族等	ウ、チェックリスト該当者またはその家族等	エ、身体障害者手帳保持者またはその家族等	オ、その他 肢体不自由、内部・知的・精神障害、その他障害を有する者またはその家族等	カ、ケアマネジャー	キ、ア～キに該当しない方
地域包括支援センターCan	—	—	—	—	—	—	—
生活クラブ風の村介護ステーション市川				1		1	
生きがいと助けあいSSU市川	1	1		1	1	1	1
市川レンコンの会 レッツ・レンコン	—	—	—	—	—	—	—
オリーブの家					1		
ポテト				1	1	0	1
ココ COLOR ねっと	—	—	—	—	—	—	—
ミルクィウェイ	—	—	—	—	—	—	—
合計	1	1	0	3	3	2	2

キ、ア～キに該当しない方の回答内容

- ・市役所等の関係機関、支援相談員

(12) 問い合わせ内容

Q12：お問い合わせの際、利用目的で一番多いものはなんですか。有効回答者数：4事業者

	ア、病院 への送迎	イ、職場 への通勤	ウ、介護・ 障害者施設 への通所	エ、買い 物	オ、レジャ ー	カ、レス パイト ケアの ため	キ、その 他
地域包括支援セン ターCan	—	—	—	—	—	—	—
生活クラブ風の村 介護ステーション 市川	1	1					
生きがいと助けあ いSSU市川	1						
市川レンコンの会 レッツ・レンコン	—	—	—	—	—	—	—
オリーブの家			1				
ポテト			1				
ココ COLOR ねっと	—	—	—	—	—	—	—
ミルクーウェイ	—	—	—	—	—	—	—
合計	2	1	2	0	0	0	0

(13) 会員登録

Q13：実際に会員登録につなげることはできていますか。有効回答者数：4事業者

	ア、できている	イ、概ねできている	ウ、あまりできていない	エ、できていない
地域包括支援センターCan	—	—	—	—
生活クラブ風の村介護ステーション市川		1		
生きがいと助けあいSSU市川		1		
市川レンコンの会 レッツ・レンコン	—	—	—	—
オリーブの家			1	
ポテト			1	
ココ COLOR ねっと	—	—	—	—
ミルクィウェイ	—	—	—	—
合計	0	2	2	0

(14) 会員登録につながらなかった理由

Q14：Q13でウ又はエと回答した方へ伺います。要因を教えてください。該当するものすべて○をつけてください。

該当する回答はなかった。

(15) 今後の展開

Q15：今後、福祉有償運送をどのように展開していく予定ですか。(複数回答可)

有効回答者数：8事業者

	ア、利用者をもっと受け入れたい	イ、車両の台数を増やしたい	ウ、ドライバーの数を増やしたい	エ、今まで通り事業を継続したい	オ、利用者を減らしたい	カ、運送回数を減らしたい	キ、事業をやめたい	ク、その他
地域包括支援センターCan				1				
生活クラブ風の村介護ステーション市川						1		
生きがいと助けあいSSU市川			1	1				
市川レンコンの会レッツ・レンコン		1	1	1				
オリーブの家				1				
ポテト							1	
ココCOLORねっと				1				
ミルキーウェイ				1				
合計	0	1	2	6	0	1	1	0

Q16：その他本市の福祉有償運送事業へのご意見・ご質問があればご記入ください。

有効回答なし

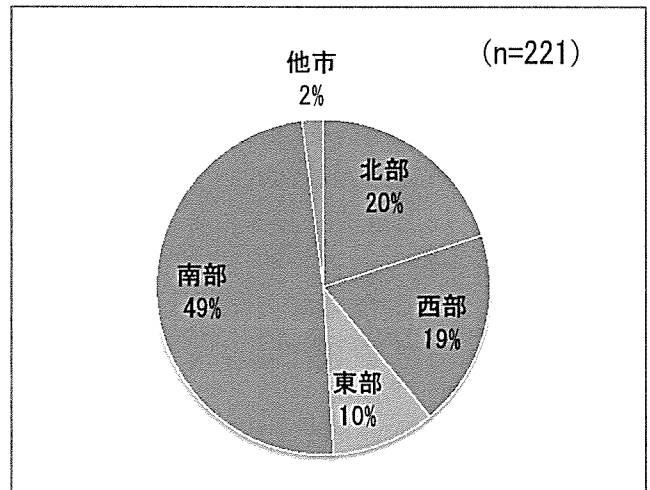
2. 利用者アンケート

(1) 居住地区

Q1：あなたのお住まいの地区を町丁名まで教えてください

有効回答者数：221名

項目	回答数	割合 (%)
北部	44	20
西武	42	19
東部	23	10
南部	108	49
その他	4	2
合計	221	—

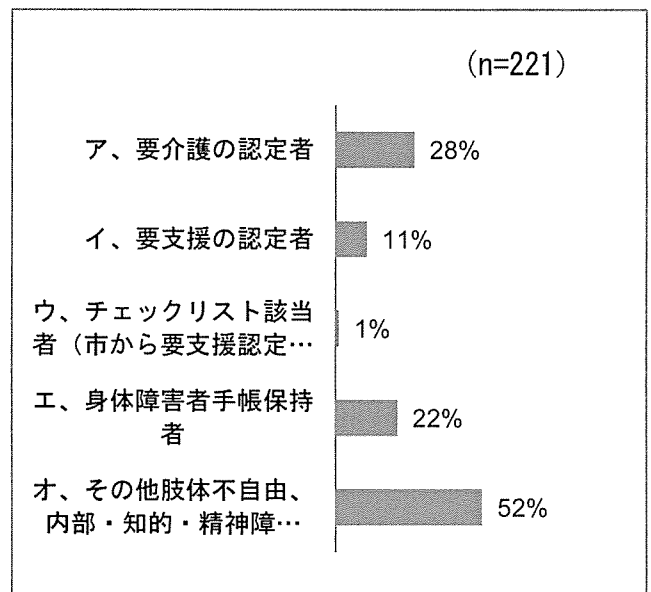


(2) 様態

Q2：あなたは以下に該当しますか。(複数回答可) 該当するものすべてに○をつけてください。

有効回答者数：221名

項目	回答数	割合 (%)
ア、要介護の認定者	62	28
イ、要支援の認定者	24	11
ウ、チェックリスト該当者	2	1
エ、身体障害者手帳保持者	48	22
オ、その他肢体不自由、内部・知的・精神障害、その他障害を有する者	116	52
有効回答者数	221	—

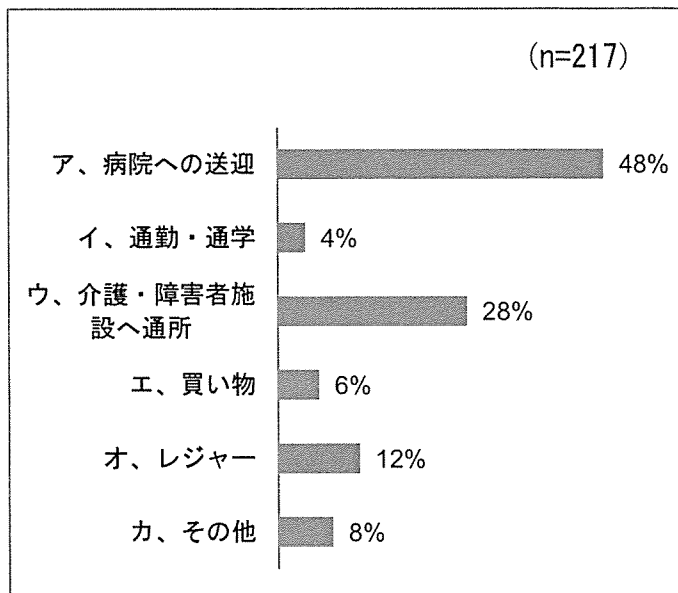


(3) 利用目的

Q3：あなたの利用目的（ア～カ）を教えてください。（複数回答可）

有効回答者数：217名

項目	回答数	割合 (%)
ア、病院への送迎	104	48
イ、通勤・通学	9	4
ウ、施設への通所	60	28
エ、買物	12	6
オ、レジャー	26	12
カ、その他	18	8
合計	217	—



「その他」の主な回答内容

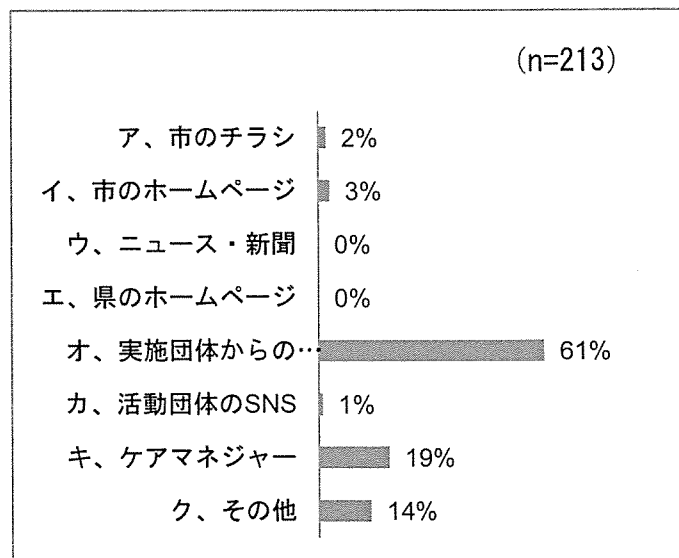
- ・余暇を充実させるため、現在利用していない、サロンへの送迎

(4) 福祉有償運送を知った方法

Q4：福祉有償運送の制度をどのように知りましたか。（複数回答可）

有効回答者数：213名

項目	回答数	割合 (%)
ア、市のチラシ	5	2
イ、市のHP	7	3
ウ、ニュース・新聞	0	0
エ、県のHP	1	0
オ、実施団体からの紹介	130	61
カ、活動団体のSNS	2	1
キ、ケアマネジャー	40	19
ク、その他	30	14
有効回答者数	213	—



「その他」の主な回答内容

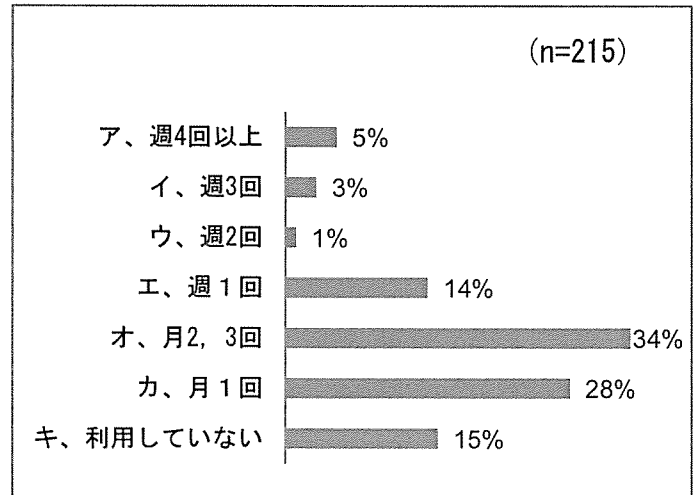
- ・友人・知人から、NPO・ボランティア団体

(5) 利用頻度

Q5：最近の3ヶ月の間、週に何回、もしくは月に何回くらい福祉有償運送を利用していますか。

有効回答者数：215名

項目	回答数	割合 (%)
ア、週4回以上	10	5
イ、週3回	6	3
ウ、週2回	2	1
エ、週1回	31	14
オ、月2, 3回	73	34
カ、月1回	61	28
キ、利用していない	32	15
合計	215	—

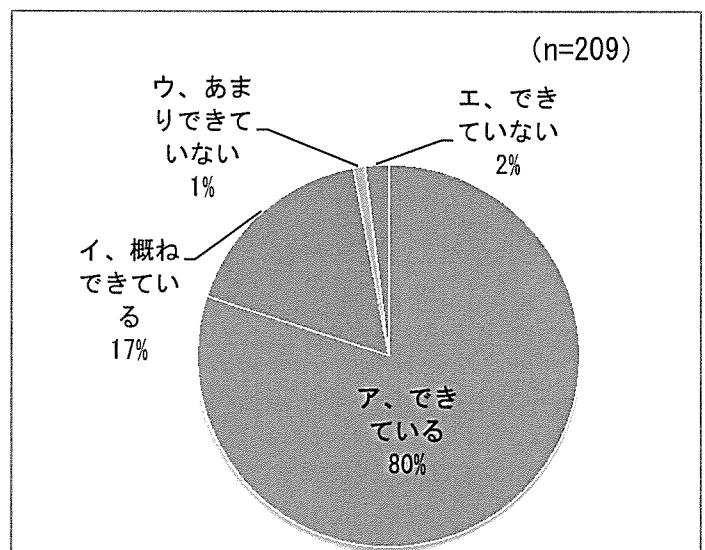


(6) 利用実態

Q6：福祉有償運送サービスは希望通りの利用ができていますか。

有効回答者数：209名

項目	回答数	割合 (%)
ア、できている	167	80
イ、概ねできている	35	17
ウ、あまりできていない	3	1
エ、できていない	4	2
合計	209	—



(7) 希望通りの利用ができていない理由

Q7：Q6でウ又はエと回答した方へ伺います。ウ又はエと回答した理由を教えてください。

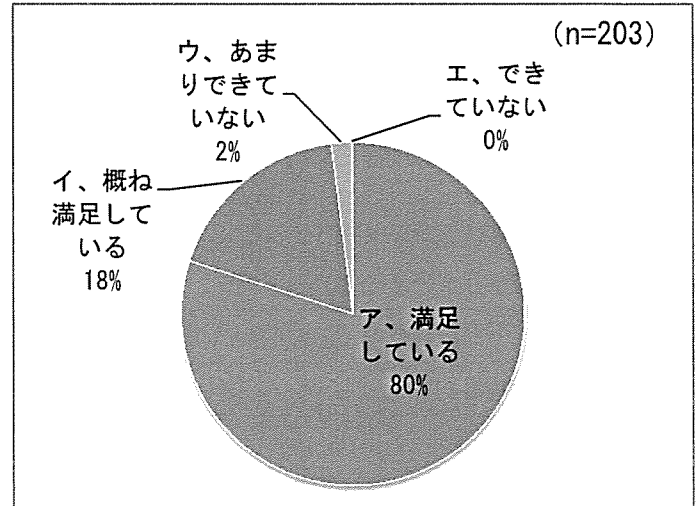
- ・回数を増やしてもらえない
- ・送迎の回数が2回から1回になった

(8) 満足度

Q8：あなたは福祉有償運送に満足していますか。

有効回答者数：203名

項目	回答数	割合 (%)
ア、満足している	162	80
イ、概ね満足している	36	18
ウ、あまりできていない	4	2
エ、できていない	1	0
合計	203	—



(9) 満足度の理由

Q9：Q8の回答理由を教えてください。

意見区分	件数
------	----

ア満足している

イ概ね満足している

肯定的意見	54	肯定的意見	3
・ 要望への柔軟な対応	16	・ 要望への柔軟な対応	2
・ 親切で丁寧な対応	12	・ 親切で丁寧な対応	1
・ 感謝	9	否定的意見	3
・ 料金が安い	6	・ 人手不足で利用できないことがある	2
・ 介護、介助、乗降の手伝いをしてくれる	5	・ 今から状況が変わった時に利用できるか心配	1
・ ドライバーが親切・丁寧	4	要望	1
・ 家族の負担軽減になる	1	・ リフトロープ付の車を使用してほしい	1
・ 前日に確認電話がある	1	ウあまりできていない	
否定的意見	1	肯定的意見	1
・ 料金が安い	1	・ 要望への柔軟な対応	1
その他	4	否定的意見	3
		・ 料金が安い	1
		・ 人手不足で利用できないことがある	1
		・ ドライバーにとって道順が違う	1

Q8：エ、有効回答なし

(10) 自由記述

Q10：その他本市の福祉有償運送へのご意見・ご質問があればご記入ください。

意見区分	件数
肯定的意見	4
・感謝している	4
否定的意見	4
・料金が高い	1
・活用への柔軟性がない	1
・人手不足で利用できない	2
要望	6
・事業者を増やしてほしい	2
・家族も一緒に乗せてほしい	2
・ネット環境がなくても情報が届くような配慮	1
・事業の拡大希望	1
その他	5

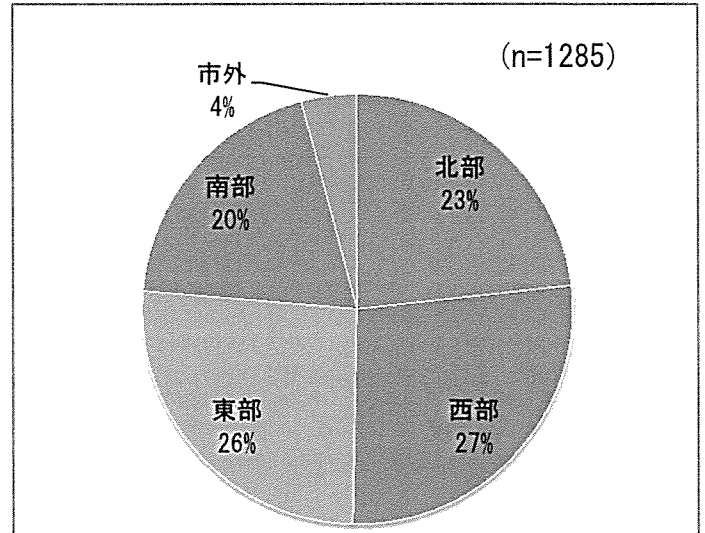
3. 一般市民アンケート

(1) 居住地区

Q1：あなたのお住まいの地域を町丁名まで教えてください。※市外在住の場合は、氏名まで教えてください。例：国府台3丁目、鎌ヶ谷市

有効回答者数：1285名

項目	回答数	割合 (%)
北部	299	23
西部	348	27
東部	334	26
南部	251	20
他市	53	4
合計	1285	—

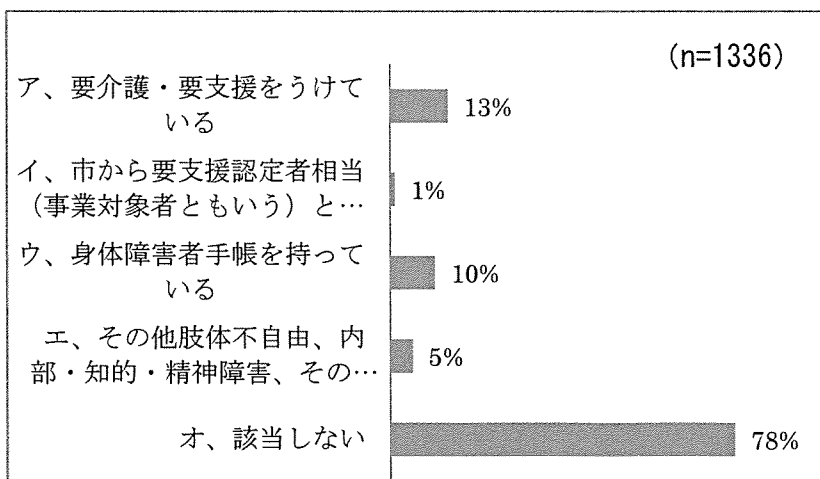


(2) 様態

Q2：あなた又は家族・親族は以下に該当しますか。(複数回答可) ※該当する場合は福祉有償運送サービスの対象になります。

有効回答者数：1336名

項目	回答数	割合 (%)
ア、要介護・要支援を受けている	174	13
イ、市から要支援者相当(事業対象者ともいう)と認定されている	20	1
ウ、身体障害者手帳を持っている	127	10
エ、その他肢体不自由、内部・知的・精神障害、その他障害がある	71	5
オ、該当しない	1036	78
有効回答者数	1336	—

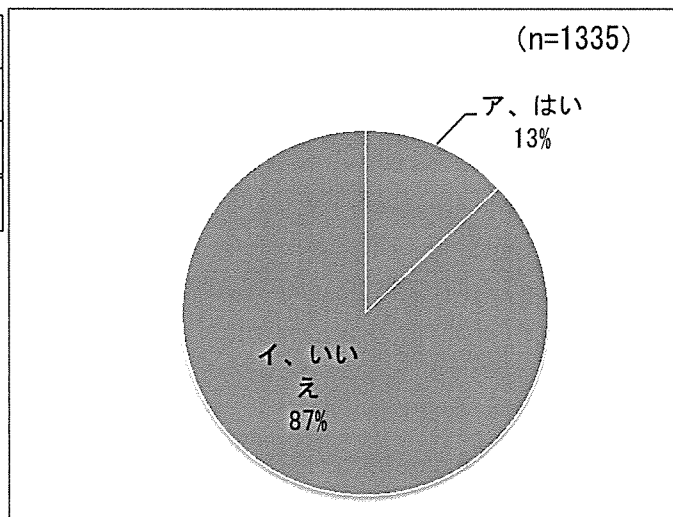


(3) 福祉有償運送を知っているか

Q 3 : あなたは福祉有償運送を知っていましたか。

有効回答者数 : 1335 名

項目	回答数	割合 (%)
ア、はい	168	13
イ、いいえ	1167	87
合計	1335	—

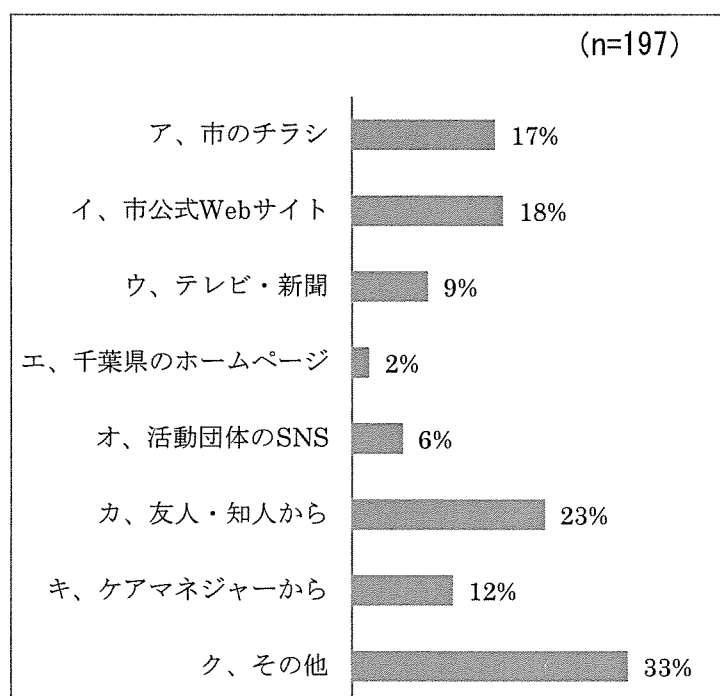


(4) 福祉有償運送を知った方法

Q 4 : 福祉有償運送をどこで知りましたか。(複数回答可)

有効回答者数 : 197 名

項目	回答数	割合 (%)
ア、市のチラシ	33	17
イ、市のHP	35	18
ウ、テレビ・新聞	18	9
エ、県のHP	4	2
オ、活動団体のSNS	11	6
カ、友人知人から	45	23
キ、ケアマネジャーから	24	12
ク、その他	65	33
有効回答者数	197	—



「その他」の主な回答内容

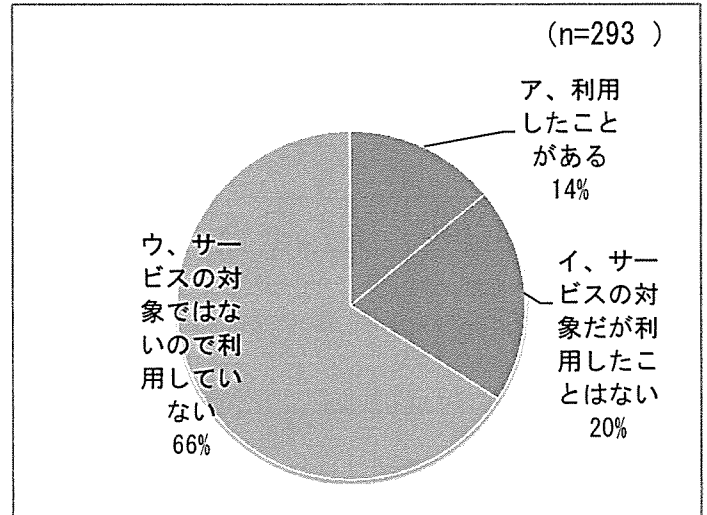
- ・仕事上(福祉、医療関係者等)、福祉有償運送の車を見て、担い手

(5) 利用実態

Q5：あなた又は家族・親族は今までに福祉有償運送を利用したことがありますか。

有効回答者数：293名

項目	回答数	割合 (%)
ア、利用したことがある	42	14
イ、サービス対象だが利用したことはない	58	20
ウ、サービス対象ではないので利用していない	193	66
合計	293	—



(6) 利用した感想または利用していない理由

Q6：福祉有償運送を利用してみていかがでしたか。あなた又は家族・親族がサービスの対象で利用されていない場合は理由などございましたらご記入ください。※回答後はQ9へお進みください。

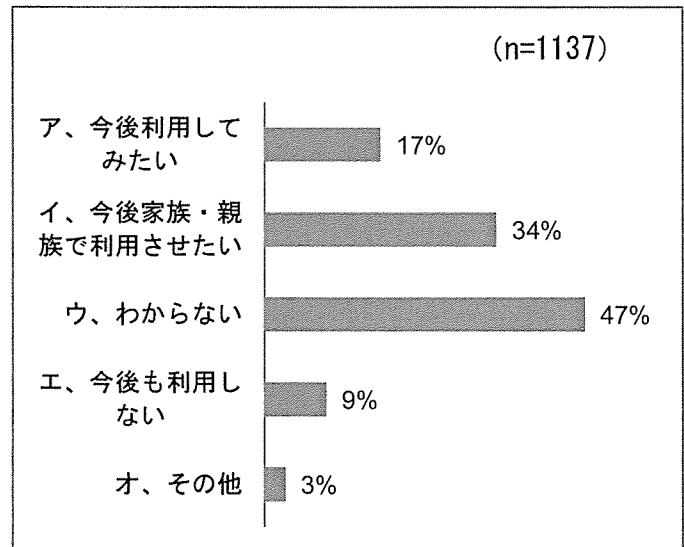
項目	回答件数
ア、利用したことがある	
便利、親切、丁寧	13
料金が高い	6
運転者によってサービスの質が異なる	2
その他	3
イ、自分又は家族・親族がサービスの対象だが利用したことはない	
自分又は家族が運転できるため必要ない	7
お徳感がない	1

(7) 今後の利用

Q7：Q3で「いいえ」を選択した方に伺います。このような制度があるのを知り、今後、自身で利用したいですか。また、今後、家族・親族で利用させたい方がいますか。(複数回答可)

※現時点でサービスの対象でない場合は、今後あなた又は家族・親族が対象になったことを想定してご回答ください。
有効回答者数：1137名

項目	回答数	割合 (%)
ア、利用したい	195	17
イ、利用させたい	385	34
ウ、わからない	531	47
エ、今後も利用しない	105	9
オ、その他	29	3
有効回答者数	1137	—



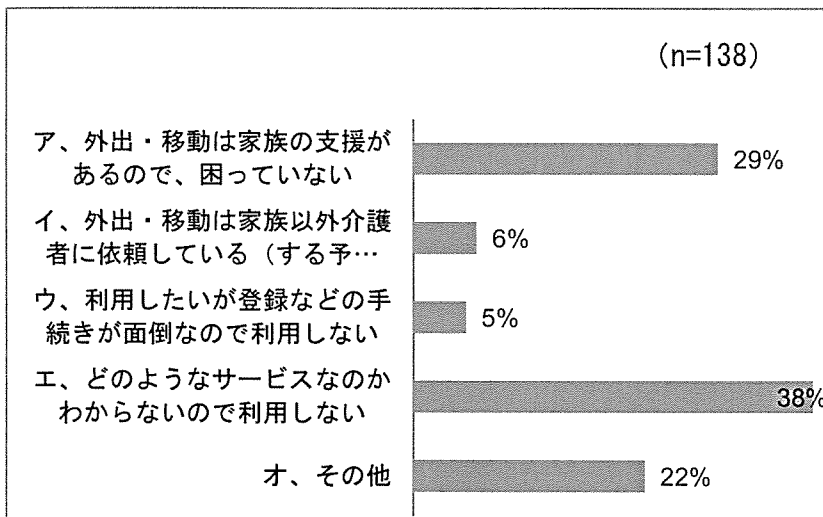
「その他」の回答内容

- ・必要なし

(8) 今後も利用しない理由

Q8：Q7で「今後も利用しない」を選択した方に伺います。理由について最も当てはまるものを選択してください。
有効回答者数：138名

項目	回答数	割合 (%)
ア、家族の支援で困ってない	40	29
イ、介護者の支援で困ってない	8	6
ウ、手続きが面倒	7	5
エ、わからない	53	38
オ、その他	30	22
合計	138	—



(9) 周知方法

Q9：今後、市が福祉有償運送を周知していく上で、どのような方法が適していると思いますか。
ご自由に記入してください。

有効回答者数：286名

手段	件数
広報紙	77
チラシ	12
自治会回覧	11
市の公式ホームページ	9
ポスター	7
パンフレット	7
新聞	7
SNS	6
テレビ	5
ケアマネジャー	4
民生委員	3
イベント	3
自治会掲示板	2
郵送	2
その他	89

※周知方法の「手段」以外に、周知を行う「場所」についても多くの意見が寄せられたため下記に記載する。

場所	件数
医療機関	14
公共交通機関	13
福祉施設	6
福祉関係機関	4
公共の場（公民館等）	3
商業施設	2
全件	286

(10) 自由記述

Q10：今後の福祉有償運送について、ご意見などありましたら自由に記入してください。

※「その他」という項目は、問題に適していない関係ない内容です。

意見区分	件数	意見区分	件数
肯定的意見	36	事業参入に関する意見	11
・賛成	27	・民間業者の参入を希望	4
・今後利用希望	7	・運転者の登録制度を知りたい	2
・継続希望	2	・業界団体の圧力が強い	1
否定的意見	5	・コスパが悪い	1
・税金の無駄遣い	3	・車を提供した際の補償内容を知りたい	1
・廃止希望	2	・運転者の登録を希望	1
周知に関する意見	41	・病院の参入を希望	1
・周知不足	39	市への要望	9
・わかりやすい名称に変更	2	・事業者への補助を希望	3
サービスに関する意見	23	・NPO団体との連携強化を希望	3
・対象者の拡大を希望	8	・事業者の利用者の仲介を希望	1
・利用受付の簡易化を希望	6	・市の直接実施を希望	1
・難しい、利用できるか不安	5	・タクシー業界との調整を希望	1
・事前予約制ではニーズに対応できない	4	その他	119
事業者に関する意見	9		
・予約が空いていない	4		
・事業者が少ない	1		
・個人車両は辞めた方がよい	1		
・守秘義務が守られているか不安	1		
・車両が少ない	1		
・運転手が冷たい	1		
利用料金に関する意見	18		
・低額化希望	8		
・利用料金の適正化	7		
・利用料金の明確化	1		
・無償化希望	1		
・増額希望	1		
・所得に応じた料金設定	1		

